

【本件配付先】

平成 29 年 9 月 8 日(金) 15:00
北海道政記者クラブ、稚内記者会



平成 29 年 9 月 8 日

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

バックエンド研究開発部門

幌延深地層研究センター

放射性廃棄物地層処分等に関する国際ワークショップの開催について (取材案内)

国立研究開発法人産業技術総合研究所 (AIST)、韓国地質資源研究院 (KIGAM) 及び国立研究開発法人日本原子力研究開発機構幌延深地層研究センターが共催する国際ワークショップ (以下、「WS」という。) を下記のとおり幌延町にて実施しますので、お知らせいたします。

記

【概要】

本 WS (名称: 「The 9th AIST-KIGAM Joint Workshop on CO₂ Geological Storage, Groundwater, and Geological Disposal of Radioactive Waste」) は、二酸化炭素地下貯留、地下水及び放射性廃棄物地層処分に関する研究についての情報交換を目的に、会議並びに幌延深地層研究計画の概要紹介・施設見学、浜里地区の採水現場の見学等を実施します。

【実施期間】

平成 29 年 9 月 13 日(水)～14 日(木)

【実施場所】

幌延深地層研究センター国際交流施設、地下施設 他

【参加機関及び人数】

国立研究開発法人産業技術総合研究所及び韓国地質資源研究院: 各 10 名程度
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構: 数名

【参考】

韓国地質資源研究院 (Korea Institute of Geoscience and Mineral Resources: KIGAM) は地質調査に関する韓国の国立研究機関であり、日本の旧地質調査所 (現産業技術総合研究所 地質調査総合センター) に相当する組織です。

【取材について】

WS において実施する会議を次の行程・内容で取材いただけます。取材を御希望の方は別紙「取材申込み」を FAX にて御送付いただけますようお願いいたします。

○日時：平成29年9月14日（木） 9：00～9：40

9：00～ 報道機関受付開始

9：15～ 9：30 WS についての概要説明

9：30～ 9：40 会議会場にて会議冒頭の撮影取材

○場所：幌延深地層研究センター 国際交流施設（別紙参照）

以上

【本件に関する問合せ先】

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

バックエンド研究開発部門

幌延深地層研究センター

総務・共生課長 野上 利信

電 話 01632-5-2022

FAX 01632-5-2033

放射性廃棄物地層処分等に関する国際ワークショップ
 (平成 29 年 9 月 14 日 (木))
取材申込み

◎ 9月13日(水) 17時00分までに、下記に送信してください。

FAX : 01632-5-2033

所 属	
来場方法	車 (台数 : 台) / タクシー (○をつけてください)
氏 名	
携帯電話番号	記者/ スチールカメラ/ TVカメラ (○をつけてください)
氏 名	
携帯電話番号	記者/ スチールカメラ/ TVカメラ (○をつけてください)
氏 名	
携帯電話番号	記者/ スチールカメラ/ TVカメラ (○をつけてください)

※来場を希望される全員の氏名を御記入ください。

【 取材場所 】

国際交流施設

〒098-3207

北海道天塩郡幌延町宮園町 1-8

(右図を御参照ください。)

